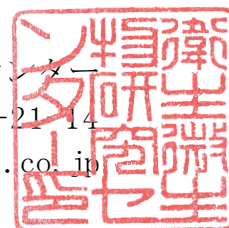


抗菌試験

試験検査報告書

(株) 衛生微生物研究所
東京都葛飾区青戸 7-21-14
Email assistant@kabi.co.jp



1. 試験概要

検体の抗菌効果を調べる。

2. 試験依頼元

株式会社ケミカル・テクノロジー

3. 試験実施場所

株式会社衛生微生物研究センター 東京研究所

東京都葛飾区青戸 7-21-14

4. 試験実施責任者

李 新一（株式会社衛生微生物研究センター 副所長）

5. 検体

検体名称	検体受領日	検体性状
光触媒 NFE2 塗布板	2023/03/20	平板状
無加工試験片	2023/03/20	平板状

6. 試験菌

Legionella pneumophila JCM 7571

7. 試験方法

7-1. 試験菌液の調製

試験菌を BCYE α 寒天培地に接種し、37°C、二酸化炭素 5%の条件下で 72 時間培養した後、生理食塩水を用いて生菌数が $10^6 \sim 10^7$ CFU/mL になるように調製し、試験菌液とした。

7-2. 試験菌液の接種、培養

検体に試験菌液を 0.4 mL 接種し、フィルム（ガンマ線滅菌済み、寸法：40 mm×40 mm×0.09 mm、材質：ポリエチレン、製造販売元：サンセイ医療器材株式会社）を被せた後、室温で 30 分間静置した。

7-3. 生菌数測定

検体をレシチン・ポリソルベート 80 添加ソイビーン・カゼイン・ダイジェスト液体培地（SCDLP 液体培地）10 mL で洗い出し、洗い出し液の 10 倍希釈系列を SCDLP 液体培地で調製した。BCYE α 寒天培地に塗抹接種し、37°C、二酸化炭素 5%の条件下で 48～72 時間培養した。培養後、形成された集落をカウントし、生菌数を算出した。

8. 試験結果

検体の抗菌試験結果を表 1 に示した。

表 1. 検体の抗菌試験成績 (*Legionella pneumophila*)

検体名称	初発菌数 (CFU/枚)	各経過時間後の生菌数 (CFU/枚)	
		結果内訳	30 分後
光触媒 NFE2 塗布板	2.6×10^7	平均値	6.5×10^3
		各試料値	1.2×10^4
			7.0×10^3
			4.0×10^2
無加工試験片	2.6×10^7	平均値	3.0×10^7
		各試料値	2.7×10^7
			3.7×10^7
			2.8×10^7

生菌数は検体 1 枚あたり、
初発菌数：試験菌液の生菌数と検体への接種量より算出した理論生菌数

以 上